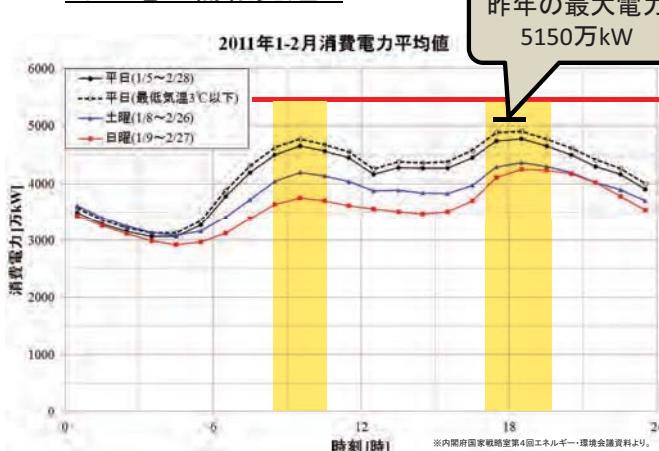


今年の冬の節電

冬の電力需給見通し



昨年の最大電力
5150万kW

今冬の供給力※
5200～5490万kW



冬の電力ピークは、
朝9時前後と夕方17時～20時頃

今年の冬は、
家庭における
節電が大事

⚠️ ただし今冬の供給量には、これまで使用していなかったり、機器点検を先延ばしにして稼働した火力発電所による電力が多く含まれているのが現状です。

➡️ 発電機器の故障によって電力供給量が急減する可能性があります。

⚠️ 今冬は、企業に対する15%電力削減規制が実施されません(緊急時を除く)。

➡️ 今夏同様の節電効果が見込めない可能性があります。



【臨機応変な節電行動】 消費電力の大きい家電から節電！

- ✓ 1回あたりの消費電力量が大きい家電(電子レンジ、食器洗い乾燥機など)の使用を避ける
…電子レンジの消費電力:約500～1000W
- ✓ 家族が1つの部屋で過ごす
- ✓ エアコンの設定温度を控えめ(20°C)にする
…年間約53kWhの節電^{*}
(設定温度を1°C下げるごとに約40Wの節電)
- ✓ 電気カーペットの設定温度を控えめにする
…年間約186kWhの節電^{*}
(温度を「強」から「中」に下げるごとに約247Wの節電)
- ✓ こたつの設定温度を控えめにする
…年間約49kWhの節電^{*}
(温度を「強」から「中」に下げるごとに約65Wの節電)

使
用
一
回
あ
た
り
の
消
費
電
力

何に電気を使っているの？

電子レンジ
洗濯乾燥機
食器洗い乾燥機
IHクッキングヒーター
掃除機
アイロン
ヘアドライヤー
電気式ポット
(湯沸し時)

エアコン
こたつ・電気ヒーター
加湿器
テレビ
照明(白熱電球)
炊飯器
デスクトップパソコン

冷蔵庫
トイレ温水便座
洗濯機
空気清浄機
電気式ポット(保温時)
照明(蛍光灯・LED電球)

短い → 長い

【日頃からの節電】

使用時間が長い家電(冷蔵庫など)は、
「省エネモードに設定」や、
「省エネ機器へ買い替えを検討」

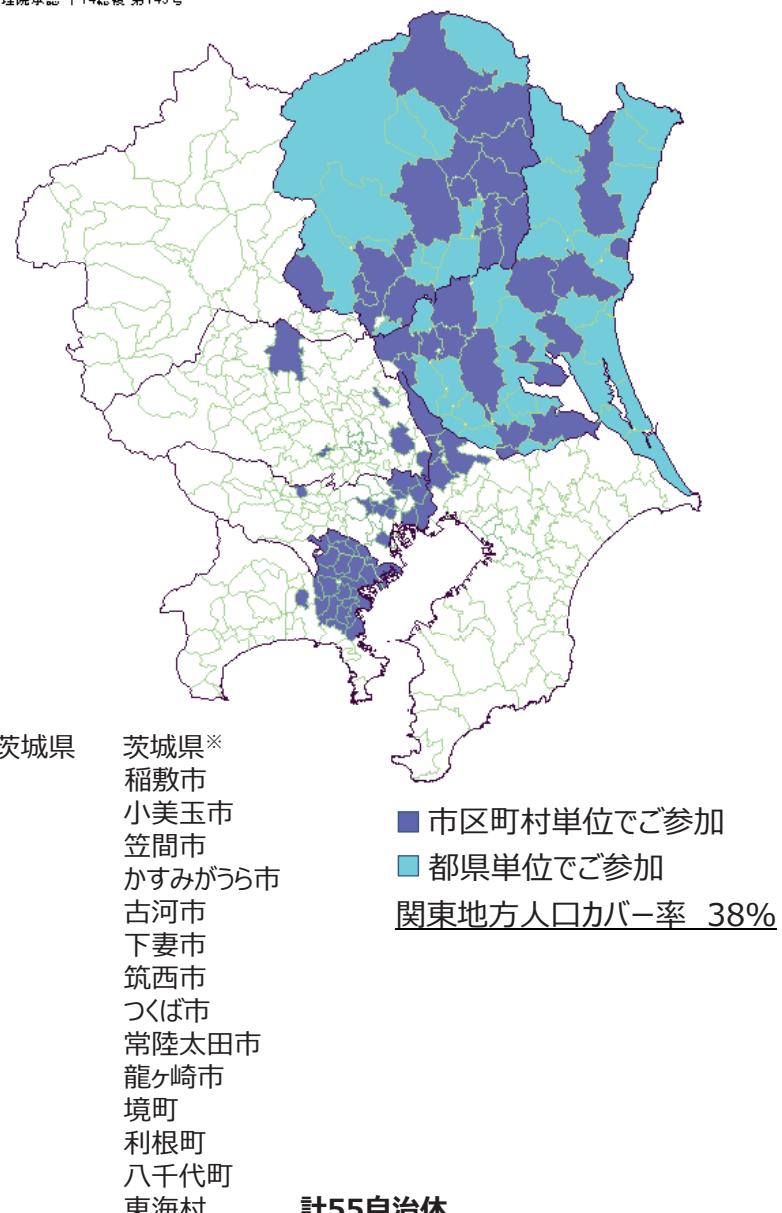
*(財)省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典2011年版」より引用。
※エアコンは、1日9時間で年間150日使用すると仮定。
※電気カーペットおよびこたつは、1日5時間で年間150日使用すると仮定。

停電予防連絡ネットワークの拡大

JST低炭素社会戦略センター（LCS）は、プラチナ構想ネットワークと協働し、参加地域の拡大を図った結果、東京電力管内の55の自治体にご参加いただきました。

東京都	足立区 荒川区 江戸川区 葛飾区 江東区 品川区 新宿区 千代田区 中野区 文京区 東大和市
神奈川県	綾瀬市 川崎市 横浜市
千葉県	柏市 流山市 野田市 松戸市
埼玉県	熊谷市 越谷市 ふじみ野市 三郷市 宮代町 桶木市※ 足利市
栃木県	宇都宮市 大田原市 小山市 さくら市 桶木市 那須烏山市 那須塩原市 矢板市 市貝町 岩舟町 高根沢町 那珂川町 益子町 壬生町 茂木町
茨城県	茨城県※ 稻敷市 小美玉市 笠間市 かすみがうら市 古河市 下妻市 筑西市 つくば市 常陸太田市 龍ヶ崎市 境町 利根町 八千代町 東海村

国土地理院承認 平14緑複 第149号



※県としてご参加

停電予防連絡ネットワーク 参加自治体へのアンケート調査結果

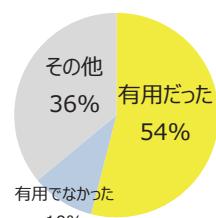
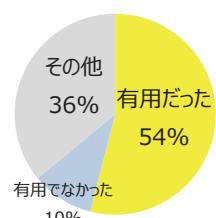
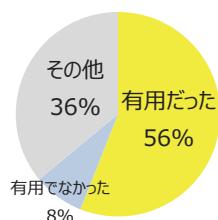
55自治体中、50自治体にご回答いただきました。

● LCSの節電・予報警報の3つのメリットについて。

メリットその1：
他機関に比べて配信時刻が早い

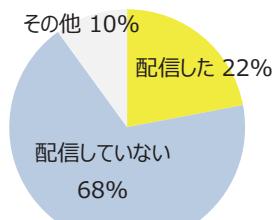
メリットその2：
節電が必要な時間帯を指定していること

メリットその3：
節電レベルに合わせた節電行動のメニューを提示していること

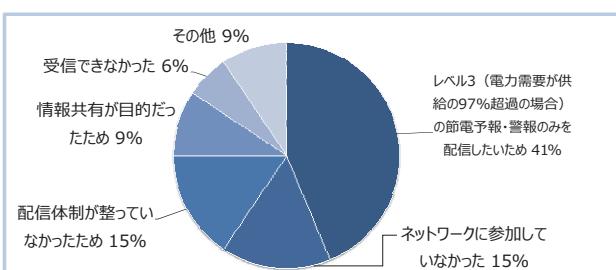


● 2011年8月18日の節電予報※の、市民への配信状況について。

※LCSは、前日の2011年8月17日の16:00に、レベル2（電力需要が供給の90%以上の見通し）の節電予報を参加自治体へ配信しました。



配信した11自治体の
配信数：約12万2千件
人口総数に対する割合：4%
世帯数に対する割合：8%
東電管内人口約4300万人に対する割合：0.3%
東電管内世帯約1700万世帯に対する割合：0.7%



● 今後の、LCSの節電予報・警報の必要性について。

